



当財団のニュースレター“みらい”第1号「地域ブランド戦略がもたらす地域活力の活性」を寄稿いただいた宮副謙司青山学院大学教授が、「地域活性化マーケティング」(同友館刊)を出版されました。

地域価値をどう創り高めるか、実証的な具体論が展開されています。

ニュースレター“みらい”は以降、「人口減少時代の日本の選択—移民受け入れをどう考えるか」(第2号毛受敏浩公益財団法人日本国際交流センター執行理事)、「絆が壊れる?—3つの「社会関係資本」全国調査からみた2003年から2013年の変化とその含意」(第3号稲葉陽二日本大学法学部教授)を発行しました。

当財団は、地域活性を多角的な視点でとらえ、継続性の高い施策につながる一助となるべく、ひき続き地域活性化に努力してまいります。

